

2010年6月14日

トピー工業株式会社

## 豊橋製造所 酸素プラントの生産能力を約85%増強！！

— コスト低減と品質向上による競争力の向上 —

トピー工業株式会社（本社：東京都品川区、社長：清水良朗、以下「トピー工業」）は、鉄鋼事業において、電炉製鋼で使用する酸素プラントの生産能力を約85%増強することとしました。本プラントには、約30億円を投資し、2012年8月の稼働開始を予定しています。

トピー工業豊橋製造所製鋼工場（愛知県豊橋市）に併設する酸素工場は、深冷分離プラント1基と簡易酸素発生装置3基を保有しています。現在、排ガス連続分析装置などを活用し製鋼工場の生産性が向上した結果、現有の酸素工場の生産能力では、慢性的に酸素供給不足が発生しています。特に、深冷分離プラントは、電気設備や主要設備の老朽化もあり、更新の必要があると判断しました。

このたびの酸素工場深冷分離プラントの生産能力増強により、一部外部購入していた酸素を含め全量自社酸素工場で供給いたします。また、増加している高張力鋼や建設機械向け鋼材などの高級鋼は、製鋼において窒素含有量を低減させる必要があります。新プラントにより生産される酸素は、窒素をほとんど含まないことから窒素含有量の低減に効果があります。さらに、酸素と同時に製鋼に必要なアルゴンガスも高効率で生産することができるため、外部購入の必要がなくなります。加えて、新たに高圧ガス特定製造事業所の許可を得て、余剰酸素、アルゴンガスおよび生成された窒素ガスを外部販売する予定です。



写真：豊橋製造所酸素工場

新酸素プラントの稼働により、粗鋼生産の安定化やコストの低減、品質の向上とともに、外部販売による収益力の向上を図り、事業基盤を一層強化いたします。トピー工業は、今後も独創性の高い技術を開発し、付加価値の高い製品を送り出すとともに、顧客と時代の要請にいち早く応じてまいります。

以 上

【お問い合わせ先】 総務部 広報担当 TEL.03-3493-0777

<ご 参 考>

【豊橋製造所酸素工場の概要】

投資概要：深冷分離プラント、工場棟、メンテナンス用天井クレーン、水素ガスローダー置場棟など

生産能力：約 10,000Nm<sup>3</sup>/h（酸素） 注）N（ノルマル）：0℃・1気圧の状態

生産品：酸素ガス、窒素ガス、アルゴンガス、液化酸素、液化窒素、液化アルゴン

設備投資額：約 30 億円

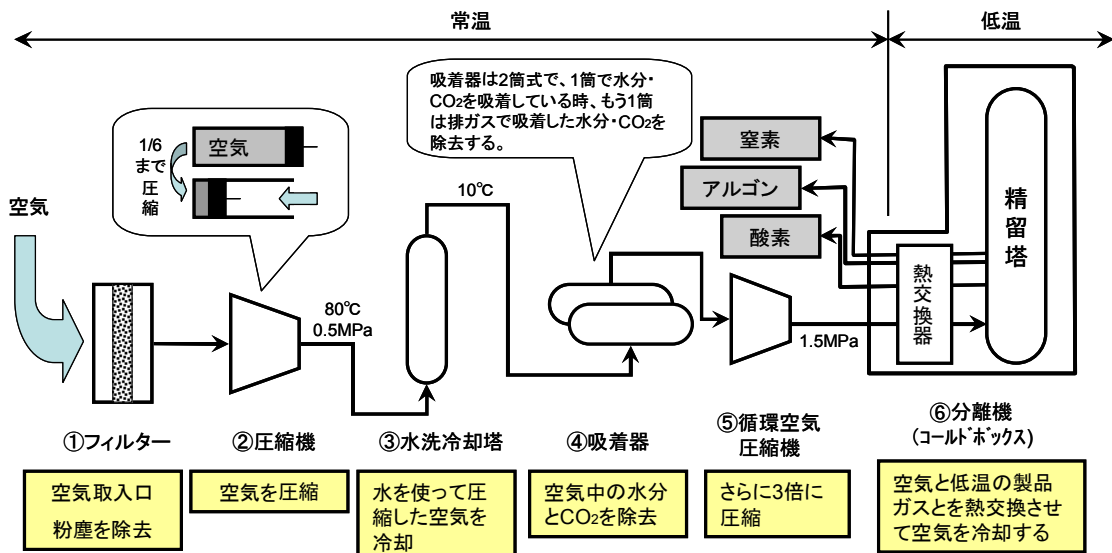
稼働開始予定：2012 年 8 月

【電炉製鋼における添加ガスの用途】

酸素：スクラップ溶解を促進するために電気炉内へ吹き込んで用います。

アルゴンガス：二次精錬中の取鍋内容鋼を攪拌するために用います。

【深冷分離法】



空気を断熱して膨張タービンにより圧縮膨張を繰り返すと、空気の温度は下がり、やがて液化します。この液体中の酸素、窒素、アルゴンの沸点の差を利用して、それぞれに分離する方法です。

【トピー工業株式会社の概要】

会社名：トピー工業株式会社

所在地：東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー

創立：1921(大正 10)年 10 月

資本金：20,983 百万円

代表者：取締役社長 清水 良朗

事業内容：自動車用ホイール、建設機械足回り部品、鋼材他の製造・販売 など

連結売上高：196,848 百万円 (2009 年度実績)